

## 第37回東播磨ミニバスケットボール優勝大会要項

### 1. 主催 東播磨ミニバスケットボール連盟

2. 期日・場所 平成30年6月10日(日) 加美体育館  
 17日(日) 滝野スカイピア  
 24日(日) 多可町アスパル

### 3. 準備事項

椅子、机	各会場	放送・マイク	各会場	トイレ用ぞうきん	会計
領収書	会計	ごみ袋	会計	コーヒースト	会計
会場入口戦績表	広報委員	新聞社に連絡	広報委員		
スコアシート	T0・MC 委員	メンバー表(予備)	T0・MC 委員	ネームホルダー	T0・MC 委員
MC チェック表	T0・MC 委員			ラインテープ	競技委員
記念品(ボール)	総務委員	試合球	総務委員	表彰状	総務委員
T0 セット一式	各会場<10日加美:江井島・加西		17日効化7:	二見・松が丘	>
デジタイマー	各会場<10日加美:江井島・加西		17日効化7:	二見・松が丘	>
優勝カップ	男:加古川	女:松陽			

### 4. 閉会式(進行:総務委員)※開会式は行わない。

- ①選手整列 ②成績発表 ③表彰式(今大会表彰:優勝・準優勝・3位・4位)  
 ④講評 ⑤会長挨拶 ⑥連絡事項、その他

### 5. その他

#### ①審判・T0について

※審判の指導や助言を行うので、時間の許す限り、審判主任や講師に話を聞くこと。

※審判割り当ては、後日配信する。最終日の指名審判は予選ブロック終了後、審判委員で割り当て会議を行い、割り当てがあるものには直接連絡する。

#### ②マンツーマンコミッショナーの設置について

※試合ごとにMCを1名設置し、「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って判定を行い、試合終了後に報告書を提出する。最終日の指名MCは予選ブロック終了後、T0・MC委員で割り当て会議を行い、割り当てがあるものには直接連絡する。

#### ③会場について

※当日試合のあるチームの中で最低1名は、会場準備のために集合時間に来て、会場準備をすること。  
 ※最終ゲーム終了後、最終ゲームに関わったチーム(試合・T0等)は、コートの片付けを手伝う。  
 ※選手・保護者・チーム関係者・大会スタッフは、会場のスリッパやげた箱を一切使用しない。

※会場へはチーム内で相談し、できる限り乗り合わせて来ること。

※会場でのトラブル・不祥事について、チーム代表者はくれぐれも注意すること。何らかの場合は、速やかに大会本部に申し出る。またチームで責任を持って対応すること。万が一の場合は、理事会より何らかの処分をすることもある。その場合、理事会で決定後、チーム代表者に連絡する。

#### ④染症について

※感染症により、金曜日に学級閉鎖・学年閉鎖・休校があった場合、そのクラス・学年・学校に所属する選手は、大会に出場することができない。

※当日選手数が10名に満たない場合も、相手チームと相談の上、交流試合をすることができる。またチームの判断で棄権することができる。ただし棄権の場合も、大会運営に協力すること。

#### ⑤その他

※大会参加費 2500円/1チーム 決勝リーグ(トーナメント)進出チームは+1000円

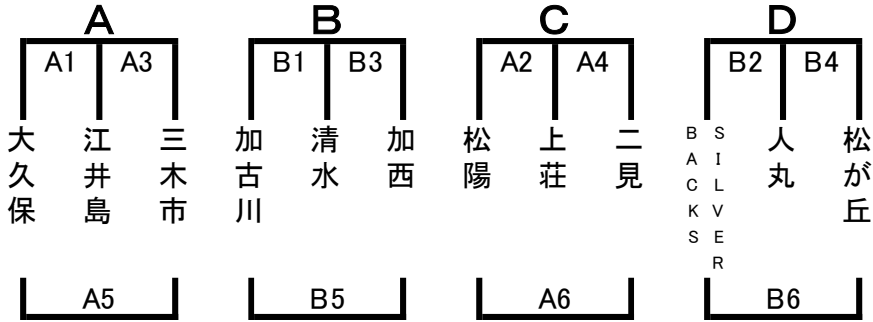
※メンバー表を記入して持参し、第1試合開始までに本部に提出すること。

※理事・役員は自チームの試合がない日でも、都合のつく限り、会場へ足を運んで大会運営上の各委員の仕事をする。

6. 組み合わせ（詳しくは対戦表をご覧ください）

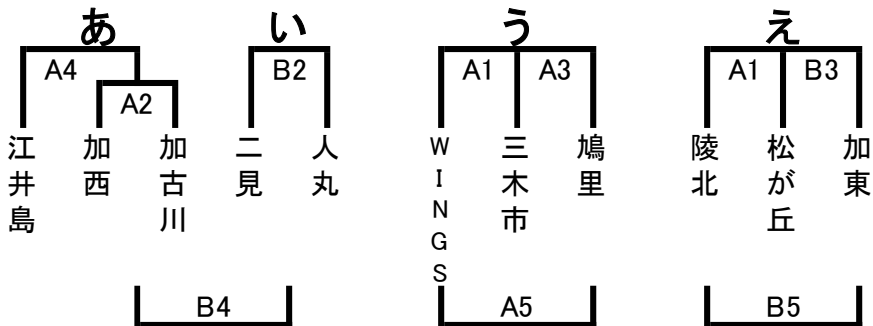
【男子】

10日 加美体育館



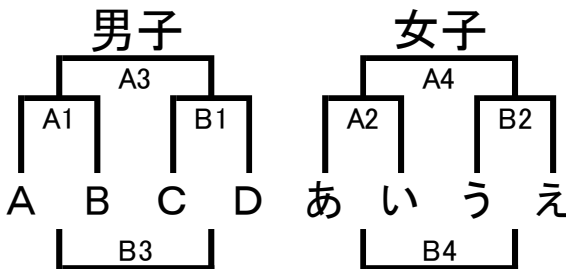
【女子】

17日 スカイピア



【決勝トーナメント】

24日 アスパル



	試合開始時間 (進行により遅れることもあります)			
	10 加美	17 スカイピア	24 アスパル	
役員集合	9:30	9:30	12:00	:
①	10:30	10:30	13:00	:
②	11:30	11:30	14:00	:
③	12:30	12:30	15:00	:
④	13:30	13:30	16:00	:
⑤	14:30	14:30	閉会式	:
⑥	15:30			

【競技規則】

- ・日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準ずる。  
(106分時計止める ハーフ3分 試合間10分)  
ゾーンディフェンスは禁止。違反行為があった場合は、審判を通じて対象チームのコーチに警告を与える。(2回目以降の違反行為に対しては、テクニカル・ファール)
- ・各試合開始は定刻通り行う。ただし、遅れが出た場合は次試合ための時間を10分間確保する。
- ・ユニフォームは、原則として別紙審判割り当ての前記チームが淡色を着用し、ベンチはT.O.席に向かって右側とする。
- ・ベンチには選手10~15人、チーム関係者4人まで入れる。
- ・同点の場合、3分の延長戦を1回行い、勝敗を決する。それでも勝敗が決しない場合は、2点先取のサドンデス形式で延長戦を行う。
- ・万が一3Qまでに10人の選手が出場していない場合、又は1人の選手が1・2・3Qを続けて出場していた場合、試合進行中であれば、当該チームにベンチテクニカルファールで処置し、その後10人目の選手を出場させてから試合を再開する。試合後発覚した場合、20-0で相手チームの勝利とする。
- ・応援は観覧席のみとする。ベンチでの鳴り物は禁止(メガホンも禁止)。